

令和7年度「かわごえエコツアー ～ごみ処理施設を訪ねて～」

実施報告書

- 日時 令和8年1月6日(火) 午前9時00分～午後0時30分
- 会場 環境プラザ(つばさ館)(川越市鯨井782-3)
- 天候 晴れ
- 内容 資源化センター・小畔の里クリーンセンターの概要説明及び見学
- 対象者 小・中学生と保護者(未就学児は参加不可)
- 参加費 なし
- 参加者数 19名 大人10名(中学生1名を含む)、こども9名
- 解説者 資源化センター 所長 牛窪 浩司
小畔の里クリーンセンター 所長 矢島 清人

令和7年度 かわごえエコツアー 行程

1. 資源化センター 施設概要 (DVD視聴)

資源化センターの施設が分かるDVDを40分程度視聴し、資源化センターの施設を紹介するとともに、日頃の生活から出るごみがどのように分別され、処理されているかを学んだ。



2. 資源化センター リサイクル施設・熱回収施設 見学

DVD視聴後、資源化センター職員の解説のもと施設の見学を行った。リサイクル施設では、施設の管理をしている制御室を見学し、職員が市内から集まったごみを手で選別している様子を見学した。

熱回収施設では、普段は入ることのできない中央制御室を見学し、職員がごみクレーンを操作する際には、ごみの量に驚く参加者もいた。



3. 資源化センター 草木類資源化施設 見学

「草木類資源化施設」では、市内から集まったせん定枝を粉砕・植繊化し、長期間発酵・熟成することで土壌改良材「肥え土」へと資源化する過程を見学した。



4. 資源化センター 空きカン・空きビン分別の様子

空きカンは、磁石を利用してその他のごみと分別し、段ボールほどの大きさに圧縮され、空きビンは色ごとに仕分けされる様子を見学した。ここで働く職員は、騒音から耳を守るために耳栓をしているなどの解説があった。



5. 資源化センター スラグストックヤード 見学

熱回収施設にて燃え残った「スラグ」と呼ばれるものを管理している「スラグストックヤード」を見学した。砂のように細かいスラグは、小畔の里クリーンセンターへ運ばれて埋められるほか、道路用アスファルトなどの材料として活用されていることを学んだ。



6. 小畔の里クリーンセンター 施設概要

環境政策課職員より、小畔の里クリーンセンターの施設について説明があり、クイズを通して年間のごみの搬入量の推移などを学ぶことができた。また、ドローンで撮影した動画や過去の航空写真と比較することで、第1期埋立地が減少していることを感じ取ることができた。



7. 小畔の里クリーンセンター 第1期埋立地・浸出水処理施設 見学

市役所のバスで小畔の里クリーンセンターへ移動し、小畔の里クリーンセンター職員の解説のもと、第1期埋立地を見学した。実際に見学することで、参加者にごみ削減の意識を再認識してもらうことができた。また、浸出水処理施設を見学し、第1期埋立地から出る汚水がどのように処理されていくのかを学んだ。

